

13:00～13:10	開会ご挨拶 吉田 眞 日本クラウドセキュリティアライアンス会長 東京大学名誉教授
13:10～13:40	 <p><b>DevSecOps／サーバーレス WG 笹原 英司</b>  <b>「クラウドネイティブセキュリティとCxOの役割」</b>          CSAでは、CxO Trust Summit 2022やCxO向けドキュメント作成などを通じて、クラウドユーザー企業の経営層（CEO、CIO、CISOなど）の対する啓発・支援活動を強化しています。本報告では、クラウドネイティブを代表するサーバーレス／FaaS(Function as a Service)環境のセキュリティ管理策およびそれを支えるDevSecOps組織体制について、ユーザー企業の開発者／アーキテクトおよびCxOを対象とするコンテンツ作成・情報発信活動を紹介します。</p>
13:40～14:10	 <p><b>CCM/STAR WG 笠松 隆幸</b>  <b>「CCM v4とISMAPとのマッピング解説」</b>          CCMワーキンググループは、2016年から活動し、今日までクラウドセキュリティにおける啓蒙活動を行ってきました。昨年2021wg活動では、CSA米国本部が作成したCCMv3(Cloud Control Matrix)に対して、CSA日本支部が独自にISO27002/27017/27018の管理策および日本国内法令やセキュリティ標準等など16分野/133管理策についてマッピングを進め、勉強会や公開を通して普及を行いました。さらに本年2022wg活動では、CCMv4である17分野/197管理策と政府情報システムのセキュリティ評価制度ISMAP2021とも紐付けし、わかり易いマッピングを近々公開予定ですが、先駆けてCongress2022においてご紹介致します。</p>
14:10～14:40	 <p><b>CASB WG 羽田 昌弘</b>  <b>「クラウド利用者のためのSaaSガバナンスのベストプラクティス」</b>          企業におけるSaaSの採用は増加し、重要なデータがSaaSに集まる中、SaaSのセキュリティやガバナンスを気にされているIT管理者の方は多いのではないのでしょうか？その道しるべとなる“SaaS Governance Best practice for Cloud Customers”がCSAのSaaS Governance WGより発行されました。本資料のエッセンスを解説します。</p>
14:40～14:55	休憩
14:55～15:25	 <p><b>翻訳 WG 諸角 昌宏</b>  <b>「クラウドの重大セキュリティ脅威 パンデミック11」</b>          CSAが公開する「クラウドの重大セキュリティ脅威」の最新版「top-threats-to-cloud-computing-pandemic-eleven」を解説します。CSAでは、約2年に一度の間隔で最新のクラウドの重大セキュリティ脅威を公開しています。「top-threats-to-cloud-computing-pandemic-eleven」は、その第6回目として2022年6月に公開しました。本講演では、クラウドの重大セキュリティ脅威の動向について説明するとともに、最新版の重大脅威の内容について説明します。</p>
15:25～15:55	 <p><b>クラウドプライバシー WG 山崎 万丈</b>  <b>「CoC-JPの改正個人情報保護法対応について」</b>          CoC-JP(個人情報の保護に関する法律準拠の為の行動規範)を、個人情報保護法の令和2年及び令和3年改正に対応し改訂いたしました。クラウドセキュリティ/クラウドプライバシーに関連する、国外移転/国外委託などに関する法改正/ガイドラインの改定もありましたので、簡単に改訂内容をお伝えしたいと思います。</p>
15:55～16:40	 <p><b>日本クラウドセキュリティアライアンス</b>  <b>監事 高橋 郁夫 (駒澤綜合法律事務所代表 弁護士)</b>  <b>副会長 渥美 俊英 (クラウド利用促進機構運営委員)</b></p> <p><b>問題提起プレゼンテーション</b>  <b>ガバメントクラウド調達の新段階と経済安全保障</b>  <b>～メガクラウドの進化とISMAP、安全なクラウドの在り方～</b></p> <p>日本の公共クラウドバイデフォルトにおいて、昨年10月、今年9月のガバメントクラウドの調達が大きく変化してきています。ISMAP認定のクラウド事業者であることに加えて、200以上のクラウドネイティブな技術要件が追加され、米国の先進的メガクラウドだけしか応募できないのが現実となっています。一方でこの反動として経済安全保障の名の下で、法改正と国産クラウドへの政府支援策が表面化しています。</p> <p>本講演では、これらの動きを事実から確認し、日本のクラウドバイデフォルトの行方をクラウドセキュリティの観点から有識者により論じます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 事実経過と問題提起</li> <li>2 法律家からみた経済安全保障</li> <li>3 クラウドセキュリティ観点の論点</li> </ol>
16:40～16:50	閉会挨拶 寺尾敏康 日本クラウドセキュリティアライアンス 理事 事務局次長